

は

ち

み

<https://hacchi.jp>

vol.37

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…
「はっち」が贈る、おいしい情報。

はっち10周年座談会
はっち「0から1への物語」

わたしの「はっちアレコレ」
市民のみなさんのはっちの思い出大集合

ものづくりスタジオ・はっちレポート
新店舗のご紹介・はちのへ手しごと展

はっち 10周年 座談会

2021年2月11日、はっちは10周年を迎えます。
10年経った今だから話せる建設時やオープン後の出来事について、
当時のオープニングスタッフのみなさんにお話を伺いました。

10th
hacchi
anniversary



はっち「0から1への物語」

美術館でもない、博物館でもない……。中心街を元気にするための施設。

八戸に生きる人の営みに光を当てた

「私の住むまちって、いいね」を育てる、新感覚ミュージアムができるまで。

中心街を元気に！動き始めた「はっち」

ないから、どうぞりはまつてもらわうわけにもい
かなくて……。

酒井 そこにたまたま稔さんが電話の修理

に来て、「あの人欲しいー！」つて（笑）。

だから稔さんが配属されて、同じ職場に設

備のことを相談できる人がいてくれて、助か

りました。

田中 でも、みんな事務職で技術職は俺一

人で。疎外感を感じながら……。

だから稔さんは配属されて、同じ職場に設

備のことを相談できる人がいてくれて、助か

ました。

酒井 そこ時稔さんがやっていたことでいう

と、例えば、設計提案では「はっちひろばは

で、みんなが喜びながら……。

風張 黙々とやつたよね。

柳沢 その時稔さんは私が

呼んじやつたんですね。

田中 僕ね、いまだに覚えてるよ。中活室に

電話の配線に行つたら、みんなが俺の顔見る

の。そしてなぜか風張さんにみんなの前で「こ

じめかと思ったわよ（笑）。酒井さんは翌年の

2009年から施設などの担当として中活室

使命でした。中活室時代から7年だけど、

最初の中活室の1年が10年分ぐらいたしさ

でしたね。最初の中心市街地活性化基本計

画、本八戸駅前通りの案件、はっちの開設準

備、それをたつた6人でやっていたからね、い

かんど活気を中心街に取り戻すまづくくりが

使命でした。中活室時代から7年だけど、

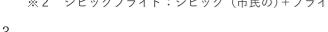
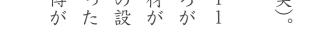
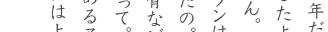
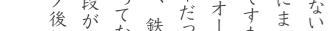
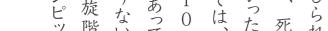
最初の中活室の1年が10年分ぐらいたしさ

でしたね。最初の中心市街地活性化基本計

画、本八戸駅前通りの案件、はっちの開設準

備、それをたつた6人でやっていたからね、い

ハード面の変更に奔走した2009年





1. 避難者のみなさんと協力して運営した携帯電話の充電サービス。2. 中心街の飲食店からはさまざまな食糧が差し入れされた。鍋ごと持ってきてくれた居酒屋さんも。3. 停電で手動になった自動ドアを、自主的に閉鎖するボランティアをしてくださった避難者の方々。

風張 柳沢 県外からの観光客や近隣にお住まいの方など、300人くらい?は結局その後、はつちで夜を明かしたんですね。

柳沢 田中 したね。

風張 中心街の複数の飲食店の人たちが食べ物を運んでくれた。停電で使えなくなつた冷蔵庫の肉、魚で鍋料理とかを差し入れてくれ

柳沢 田中 照明が点いていたし、テレビも見ることができたから情報もちゃんと入つてきたり。近所の人たちも家は不安だし、はつちが免震構造だったのもあってみなさん来てま

金沢 方金沢の方は、その後毎年丁寧なお礼状をくださったのですね。

オープン—か月後 東日本大震災が襲う

た。そこで市長が思い切って方針を切り替え、鐵骨造からRC造に設計変更を決断した。館のコンセプトは維持したままソフトは進めていく、今みたいな形になったのよね。

柳沢 最初の設計は建築的にはとても魅力的でしたが、各階がスキップフロアで繋がって、音の影響がより強くなっていたはずだから、今みたいにはつちひろばでの音楽イベントは難しかったですよね。

風張 そうね。今考えると設計変更があつて良かったのよね。当時は、はつちをこれから使うであろう人たちに改めて聞き取りして指摘されたのが、「搬出入の駐車場が無い施設は誰も使いませんよ」つて。その時点で、今ある裏のスペースはまだ市の土地ではなかったし、元々はつちに駐車場は無い予定だったの！そこからの土地の購入に至るまでの道のりは

The image consists of three vertically stacked photographs. The top photograph (2) shows a group of people, including several men in suits and ties and some children, participating in a ribbon-cutting ceremony at a formal event. The middle photograph (3) depicts women in traditional kimonos seated on the floor, playing the koto (a traditional Japanese harp). The bottom photograph (4) shows a group of people standing outside a modern building with large glass windows, some wearing traditional hats like the fukinuki yatai.

A wide-angle, high-angle shot capturing a massive crowd of people in a city street at night. The scene is filled with spectators, many of whom are wearing winter clothing like hats and scarves. In the center, there's a raised platform or stage where several individuals are performing. One person on the stage is wearing a bright yellow and orange costume, possibly a lion or dragon. Another person is in a pink outfit. The background features modern city buildings with various signs and advertisements, including one for "animate". Streetlights and traffic signs are visible, adding to the urban atmosphere.

2011年2月 はながた認定

風張 はしつちのアドバイザリーボードのみなをながわつてくださつてゐることが強かつたで
んが聞わつてくださつてゐることが強かつたで
すね。アートの世界つてやつぱりまだまだ狭い
世界で、どこに行つても同じ人が携わつていて
「八戸に面白いものができるよ」とアピールし
てくださつた。いきなり全國的に期待度が高
まつたというわけではなく、そういう方たちの
のロコモビリティアピールのおかけね。まだそこの
ろつてアート」「絵」だと思つてゐる人が市内
でも多い時代だつたしね。

柳沢 ほかにも最初のはつち市で、百貨店ど
はつちの間にお店を出した時にね。

風張 街なかの人たちが一番理解しにくかつて、「はつちの存在意義」みたいなものをわかつてくださったんじないのかな。でも、意義など理解してなくとも、協力してくれたり、応援してくれるたくさんの人たちに支えられて、やつてこれたと思っています。

酒井 あの日はオープンして一ヶ月後にはやつてもらえた休日だったんですけど、すぐ来つて呼び出されましたもん。

田中 当然だろ！（笑）。

風張 あの時はちょうどボランティアガイドさんに元消防士の方がいて、何をしたらいいかアドバイスをくれたんです。「船に例えたら館長のあなたが船長なんだから、ちゃんとみんなに指示を出して引っ張っていかなきゃダメですよ」と言つて言つて、何をすべきかを教えてもらえて助けられたわ。あの時は全員無我夢中だったからね。結果として、市民からも評価してもらえることになったのね。

酒井 ここが「多機能」だってことが初めて証明されたということですかね。

田中 そうだよ。だってその当時、はつちはまだ避難所じやなかつたもん！

酒井 そうですね、当時は避難所に指定されていなくて。だから急遽の「臨時」避難所だった。はつちはそういうこともできるといふことを、理解してもらえたのかもしれないですね。

卯尺 建物としての幾能もスタッフも、緊急

柳沢 準備はしていたけれど、どれくらい来るかなかなか予想できなかつたですしね。
酒井 正直、あんなに来るとは思つていませ
んでしたね。2月の寒い時期に。でも雪が降
らなくて良かつたですね。

田中 ハ戸市民の想いが爆発した感じだった
ね。「何かわからんないけど始まるぞ!」みた
いな。オープニングと言えばシアターのジャズ
ライブも大変だつたんだよ。溢れるほど人が集
まつちゃつて危険で、急遽入れ替え制にし
たら「八戸のジャズファンを舐めるんじゃ
ねー」つて言われちゃつて。今思えればチケット制
にすれば良かつたんだけど、オープニング前は
それすら考え方がないほど忙しかつたし、何
よりこんなに人が来ると思わなかつた……。
風張 八戸を代表する日本舞踊の先生方もも
黒留袖に日本髪で、立派な演目を披露して

キヤツトウォームに55人の本物の神楽が並んで一斉歓打ちをした。その時はさすがに感無量だったな。田中 プレオープニングの時も歩道に長い行列ができたね。風張 行列の先頭に並んでいた4人の若者も印象的だったわよね。「I ♥ 八戸」の文字を背中につけてさ。

風張 はつちのアドバイザリーボードのみならんが関わってくださっていることが強かつたですね。アートの世界つてやっぱりまだ狭い世界で、どこに行つても同じ人が携わっていて。「八戸に面白いものができるよ」とアビールしてくださった。いきなり全国的に期待度が高まつたというわけではなく、そういう方たちの口コミなどアビールのおかげね。まだその口アート「絵」だと思っている人が市内でも多い時代だったしね。

じは全然なかつたね。正直最初ははづちに配属されたくなかった(笑)。でもいざ来てみたら「よしやろう!」、「やらなきやダメだ」というモードに変わつて。なんでだろうって考えたら、やっぱり周りのスタッフがそういう気持ちにさせてくれたんだなって。10年目つて大変な時だと思つんだよね。はつとも習慣れだし、まだそれやるの?うて。でもね、どこかに隙間があつてそこを抜けると何かが開けるように思つうんです。来館する人たちのため、何が一番面白いか、ワクワクするか、つていう部分をこれからも追求してほしい、いつまで経つても冒險してほしいですね。

柳沢 オープン後は街を歩く人やお店も増えてきて、ちょっと街全体が変わつてきて。今はマチニワもブックセンターもあるし、これから美術館もできる。それだけじゃなく民間の人たちがまちづくりに取り組む中で、これからはつちはどうなっていくのかな、と。10年前とはまた違うテーマがあるだろうな。僕らが當時市民ワーキングに取り組んでいた時には中町街にいなかつた人たちが、今はたくさんい

「はつちを作ってくれてありがとう」とか「もつと早くはつちができていたら、もっと早くハ戸のことを誇りに思えたのに」って言われたりもして。私たちがやつてきたことは間違つていなかつたんだな、はつちに闇わらせてもらえてありがたかったな、と思いますね。O.B.の私たちも応援しているから、今のスタッフさんにも頑張つてほしいなと思います。

酒井　はつちをきつかけに羽ばたいていた人たちが数多くいると思うんです。個人にしろ企業にしろ、名だたる人たちを知つてもらえるきっかけを作れたと感じています。10年経つた今だから苦労している部分も多いと思うんです。当時我々ができることはできただこととして。自分の考えではハードは5年、ソフトは3年で陳腐化していくと考えているので、今いるみんながどう更新していくのか、O.B.をして期待もしているし、次の羽ばたく人たちをもっと育てていくほいなという気持ちがあります。

田中 オープン後は中心街の人たちも来るようになつてさ。「いいでしょ?」って聞いたら、「うん!」つてね。それまでは様子見感が強かったのに(笑)。

柳沢 実際、近隣の駐車場の稼働率がすごい上がつたらしくて。

酒井 ねー、劇的に上がつたって聞きましたよ。あと、あれ! はつちと百貨店との間の通路で薪ストーブを焚いたイベントがあつたんですけど、向こうの吸気口に全部……。

一同 あー! そうそう!

酒井 煙が入つていて、地下が煙だらけになつちゃつて……。あれは申し訳なかつた。

A group of four people are seated around a long, white, rectangular table in a modern, spacious room. From left to right: a man in a dark suit and glasses; a woman in a light-colored blazer and dark skirt; an older man in a green jacket and glasses; and a younger man in a grey blazer and blue shirt. They are all smiling and looking towards the camera. The room has a minimalist design with white walls, recessed lighting in the ceiling, and large windows in the background.

ますよね。IT関連の人、ユターンしてきた人、起業をした人も。多様な市民の方々がこのコンセプトで、地域の資源を大事に想いながら活動し、化学反応が起きて、何かが動き出す瞬間をもう一度見たいし、仕掛けたいです。

風張 私たちはシビックプライドミュージアムの住むまちを誇りに思うのと思わないのでは、その人の人生を左右するくらいの違いがあると思っています。特に、戸戸は人も含め財産の宝庫です。私たちの時は、さらに「中心街が空洞になつてしまふ！」とにかく中心街を活性化しなきや！」という大使命があつたので、中心街の人たちとも連携して、きめ細かく大変な手間をかけて、はつちだけじゃなく街なかを回遊する事業をやつてきたんです。時代とともににはつちの役割、存在意義も変わると、思つけれど、変わつていもとの変わつてはいけないものを見失わぬでほしいですね。「今はつちは何に向かつていくべきか」ということ、時代に合つた「はつち」の存在意義を追求しながら歩んでまいります。

柳沢 ほかにも最初のはつち市で、百貨店ど
はつちの間でお店を出した時にもね。
田中 あつたあつた！排水溝がないとか、水
道が欲しいとか、言うのは簡単だけどこっち
は大変だったんだからなー。
柳沢 今だと消防署も保健所も厳しくなった
から、最初のころみたいなイベントはもう難
しいですね。(笑)。私いつも謝りに行ってました
てたよね。(笑)。私いつも謝りに行ってました
道が欲しいとか、言うのは簡単だけどこっち
は大変だったんだからなー。
田中 消防署と保健所には完全にマークされ
てたよね。(笑)。私いつも謝りに行ってました
田中 僕も謝りに行ってたよ(笑)。まあ、こう
ちも何をするにも手探りだったから、イベン
トのたびにあちらこちらに迷惑をかけていた
んだと思うよ。オープン当初と言えば、はつ
ちひろばの21時に鳴るからくり時計を観た
いつて人が開館時間に合わせていっぱい入って
来たんだよね。だから開館するのもからくり
時計が鳴り終わるまで待つてた。
風張 15時に合わせていつも拝みに来るおば
あさんもいたのよーちゃんと手を合わせて拝
んでるの。
田中 あのからくり時計はインパクト強かつ
たよね。
風張 大型客船の
お客様がはつち
に来たことがあつ
たんだけど、から
くり時計を見るた
めに2回も大型客
船に申し込んだっ
て言つてた！から
くり時計はずつと
人気よね。
田中 それから開館当初に一番問題に上がつ
たのがトイレ問題。トイレの表記がわかりにく
くと散々言わっていたけど、テナントの店員さ
さんが「私たちサービス業をしているのだ
から、看板を増やすより案内してあれば良
いんですけど」って。そうだよな、自分たち
で言葉を交わして案内すれば良いんだよなつ
て、コミュニケーションも取れるし。俺はそ
ういうことをここで勉強させてもらつたな。

※3 八戸レビュー:88人の市民が八戸に生きる人を取材し、まとめあげたストーリーを元に、浅田政志さん、梅佳代さん、津藤秀雄さんの3人の写真家が取材された方の肖像写真を撮影した作品を一堂に展示した写真展。
※4 八戸のうわさ:アーティストの山本耕一郎さんは八戸の中心商店街のみなさんのことを訪ね会話をしながら「うわさ」ネタを開き出し、その「うわさ」をifikidashiの形で各店頭に貼り出したプロジェクト。

※4 八戸のうわさ：アーティストの山本耕一郎さんが八戸の中心商店街のみなさんのもとを訪ね会話をしながら「うわさ」ネタを聞き出し、その「うわさ」をフキタシの形で各店頭に貼り出したプロジェクト。



2011年、はっちの演劇討論会に参加し、翌年から「はちのへ演劇祭」がスタート。そこからたくさんの出会いと繋がりで今日まで演劇に関わることができます。「はっち」は今の私になくてはならない大切な場所です。

40代 / 女性

オープンしたての夏の帰省時に、母に説かれて幼い娘甥姪を連れてお邪魔しました。母は昨年亡くなり、その子たちも大きくなりました。大切な夏の思い出です。

Twitterより / 女性

はっちの放送スタジオであこがれのラジオに出られたことがとっても嬉しかったです。

30代 / 男性

高校時代、はっちで素敵なお作家さんと出会い、漆を学びたいと思うようになりました。大学は漆が学べる工芸大学に進学しました！

20代 / 女性

それまでハ戸で馴染みのなかったコスプレのイベントが行われていたんですね。このようなイベントがはっちで行われたとき、ハ戸にもポップカルチャーの風が吹いた気がしました。

Twitterより / 男性

「インスタレーションって何？」「コンテンポラリーダンスってどうやって観ればいいの？」アートに疎い私の初步的な質問にも「不思議だなあ、奇妙だなあと感じるその感性を楽しめばいいんだよ」と笑顔でわかりやすく教えてくれたのは、はっちのコーディネーターさんでした。

40代 / 女性

毎週習字のお稽古ではっちに来ています。いつ来ても気分が変わって楽しいです。

小学生 / 男性

私にとっての待ち場所です！友達との待ち合わせに、高校生時代はお迎えの待ち場所にお勉強したり…今でもバスの待ち時間に立ち寄ったりしています！

大学生 / 女性

2011年、ベトナム在住のアーティスト、スー・ハイドゥを中心に行われた「デコトラ装束のワークショップ」では、大人も子どもも時間を惜しんで飲み、完成したデコトラで、はっち付近を練り歩き、館鼻の朝市にまで行ったなー。

70代 / 女性

はっち市で全国のクラフト作家さんの素敵な作品をたくさん知ることができました！

Twitterより / 女性

プロジェクトマッピングのワークショップに子どもと一緒に参加して、子ども以上にワクワクしました！

40代 / 女性

ものづくりスタジオ「雅ちゃんカフェ」での料理教室に参加した時、今まで自分で作った料理の中で一番おいしかったです！

10代 / 男性

ものづくりスタジオに入居していた「つづれや」さんの菱刺しワークショップに参加し、それがきっかけで菱刺しに興味を持ちました。義母に菱刺しのお菓子帳を作つてプレゼントをしたら、とても喜ばれました。「つづれや」さんに出会わなかったら、菱刺しに興味を持つことはなかっただろうなと思っています。

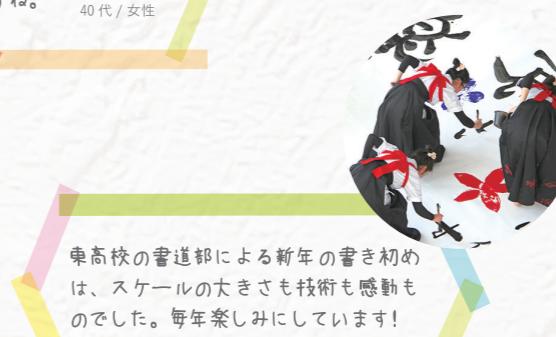
40代 / 女性

「はっちで千葉高」が印象的です。ファッションショーもすごいですし、調理科学生のレストランも美味しいで感動します。参加型はわくわくしますね。

40代 / 女性

夜、酔っ払ってはっちの外で寝いたら(覚えてない)、守衛さんが見つけて助けてくれた(らしい)。ありがとうございました。はっちは命の恩人です。

50代 / 男性



東高校の書道部による新年の書き初めは、スケールの大きさも技術も感動ものでした。毎年楽しみにしています！

60代 / 女性

娘はこどもはっち、息子は歯打獅子の時計が大好きで、帰省の度に連れて行ってました。私は2階のミニチュアが好きで、父が「小豆ぱっと」を見出し、買って帰りました。はっちがきっかけで娘が初めて「小豆ぱっと」を食べました。

Twitterより / 女性



はっち わたしのアレコレ

はっちが10周年を迎えるにあたり
はっちを利用されるみなさんに
はっちでの思い出や
印象的だったエピソードを聞きました。



県外の友達が遊びにきた時は絶対に連れていきます！みんなハ戸っていいところだねって言ってくれるので、私も嬉しくなります。私もハ戸人なのに知らなかったことがたくさんで勉強になります。

30代 / 女性

はっちのえんぶり公演で孫が初めて踊ると聞いて、「ドキドキ」で見に行きました。その日は孫の誕生日でした。孫も初めての舞台、一緒にドキドキしながらの思い出が浮かびました。

50代 / 女性



私の大好きな東北フリーブレイズの選手たちがはっちに来ました。握手や写真撮影ができた、大満足のイベントでした。これからも、はっちが地域おこしの場として、ハ戸のシンボルになることを期待しています。

Twitterより / 女性



はっち report はっちのイベント報告

■2020年初開催！地域の暮らしに息づく伝統工芸が集まる「はっちのへ手しごと展」

2020年11月21日（土）～23日（月・祝）、「はっちのへ手しごと展～伝統工芸と暮らふとと～」を開催しました。はっちでは初めて開催するイベントで、南部地方、主に八戸市の伝統工芸の体験や南部・津軽地方の民藝品の展示、木のからくりおもちゃの展示・体験など、「ものづくり」をたっぷり楽しむことができました。

伝統工芸ブースでは、えんぶり鳥帽子、南部織繩、南部総桐筆筒、南部花形組子、南部姫毬、南部菱刺し、八幡馬の7つの伝統工芸が一堂に会しました。職人自らが実演し、その熟練の技を間近で見ることができたほか、職人のみなさんから直接教えてもらえるワークショップも設けました。子どもから大人まで、普段は経験することのできない手しごとの楽しさを体験できる貴重な機会となりました。

さらに、「津軽と南部の民藝展」では、大量生産される工業製品とは違い、人の手で一つ一つ丁寧に作られた、素朴で温もりのある民藝品約130点を展示しました。こぎん刺しと南部菱刺し、津軽扇と南部扇など、津軽地方と南部地方の生活に根ざした貴重な品が並び、ギャラリートークでの展示品の解説も好評でした。

伝統工芸の体験や民藝品の展示を通して、ものづくりの楽しさや地域に根ざす貴重な文化に触れることができました。



はっち topic はっちのおすすめ情報

■南部小麦を使った生パスタのお店がオープン！



地元の食材を生かした自家製生パスタを提供するお店「Rit.」がはっち2階にオープンしました。店舗名の「Rit.（リット）」は、曲のテンポを次第にゆっくり落とすという音楽用語のリタルダンドからとったもので、慌ただしい日々の生活から離れ、リズムを少しうっくりとしながら、地域の美味しいものを楽しんでほしいという願いを込めたものです。

パスタは、南部せんべいやひつみなどに使われてきた南部小麦を使用した自家製麺。南部小麦は、よくパスタに使われるデュラムセモリナ粉と比べるとパスタには向かない品種であるものの、地元の食材を使いたいというこだわりから、試行錯誤の末、生パスタに仕上げることができたそうです。

パスタ以外にも、にんにく粉末入りの飼料を食べて育った奥入瀬ガーリックポークのワイン、六日町の魚屋「福真」から仕入れた旬の魚介類を使用するなど、地元の食材を使うこだわりも。ワインや日本酒などのアルコール類も提供しています。

旬の食材を使用しているため季節によりメニューが変わるので、何度も足を運ぶ楽しみのあるお店です。

〈営業時間〉 11:00～14:00
16:00～20:00
〈定休日〉 毎週火曜日



はっち・マチニワを利用されるみなさまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

〈運営にあたり以下の対応を行っています〉

消毒液を使用した館内清掃や、アルコール消毒液の設置、換気、館内の休憩スペースのイスを減らしソーシャルディスタンシングなどの対策に努めています。

〈施設を利用される際のお願い〉



ソーシャルディスタンシングの徹底のため、はっちの各貸館スペースの収容人数に制限を設けておりますので、主催者のみなさまは事前にお問い合わせください。

八戸ポータルミュージアム「はっち」は地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動をサポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアム はっち

〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1 TEL | 0178-22-8228 FAX | 0178-22-8808

E-mail | hacchi@city.hachinohe.aomori.jp WEB | <https://hacchi.jp>

開館時間 | 9:00～21:00 ※こどもはっち 9:30～16:30

休館日 | 毎月第2火曜日（祝日の場合その翌日）、12月31日及び1月1日

Facebook | @hacchi8 Twitter | @hacchi_staff Instagram | [hacchi_hachinohe](https://www.instagram.com/hacchi_hachinohe/)

【交通のご案内】

バス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]

八戸中心街ターミナル（八日町）下車すぐ

鉄道／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車[徒歩約10分]

航空機／三沢空港から八戸市内シャトルバス[約55分]

フェリー／八戸港フェリーターミナルから車[約15分]

車／八戸駅から車[約20分]

※一般駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

はっちリレーショナルプレス [はっちワ] vol. 37

発行：八戸市 まちづくり文化スポーツ部 八戸ポータルミュージアム

発行月：2021年1月 部数：18,000冊 印刷費：1冊あたり36.3円

